

派遣留学生帰国報告書

* 帰国（復学）後の情報を入力してください

記入日	2020/7/17
所属学部・ 研究科・学府	文学部
所属学科・専攻	人文学科国際言語文化学コース

1. 留学先について

留学先大学名	サラマンカ大学											
留学先所属学部等	翻訳学部											
留学期間	出発日	2019/9/3	入学日	2019/9/10	修了日	2020/6/17	帰国日	2020/4/10				
住居	大学(紹介)の寮・アパート	<input checked="" type="checkbox"/>	民間アパート	<input type="checkbox"/>	その他 ()							
	通学時間	20分					On campus					
	通学方法	徒歩										
	居室スペース	<input checked="" type="checkbox"/>	個室	<input type="checkbox"/>	() 人部屋	その他 ()						
	共有スペース	<input type="checkbox"/>	完全個室	<input checked="" type="checkbox"/>	キッチン	<input checked="" type="checkbox"/>	トイレ	<input checked="" type="checkbox"/>	バス	<input checked="" type="checkbox"/>	リビング	<input type="checkbox"/>
食事	自炊	70 %	学食	%	外食	30 %	その他	%	()			
保険	海外旅行保険 (名称)	東京海上日動火災保険										
	派遣先大学指定の保険 (名称)	ERV Seguros de Viaje						<input checked="" type="checkbox"/> 強制加入				
	その他											
渡航ルート	ex.) 成田⇄シカゴ (飛行機) ⇄ウィスコンシン (電車)											
	成田 ⇄ マドリード (飛行機) ⇄ サラマンカ (バス)											

2. 留学にかかった費用について

総費用	135万 円								
出どころ									
自費	<input type="checkbox"/>	貯金	円	<input type="checkbox"/>	アルバイト	円	<input type="checkbox"/>	その他	円
援助	<input checked="" type="checkbox"/>	両親	45万 円	<input checked="" type="checkbox"/>	家族・親戚	10万 円	<input type="checkbox"/>	その他	円
奨学金	<input checked="" type="checkbox"/>	JASSO	80万 円	<input type="checkbox"/>	その他名称 ()		<input type="checkbox"/>	円	
その他	<input type="checkbox"/>	その他 ()		<input type="checkbox"/>			<input type="checkbox"/>	円	

2-1. 財政管理の方法

渡航時	現金	3万 円	その他 ()	円
留学中	海外送金	<input checked="" type="checkbox"/> キャッシング	その他 ()	

2-2. 各費用の支払い方法

大学に払った費用	なし
住居にかかった費用	大家さんに手渡し
その他	

2-3. 内訳

費目	外貨金額		円貨金額	
	通貨単位			
渡航費(往復)			250,000	円
海外旅行保険			170,000	円
OSSMA			20,000	円
査証・在留許可証			2,000	円
住居	ユーロ	1,760	220,000	円
食費	ユーロ	1,500	180,000	円
通学に要する交通費				円
教科書、教材費	ユーロ	60	7,500	円
その他大学に支払った経費				円
光熱費	ユーロ	175	21,000	円
その他 (語学学校)	ユーロ	540	65,000	円
その他 (旅行)	ユーロ	2,800	350,000	円
その他 (通信費)	ユーロ	140	17,000	円
その他 (日用品・衣服)	ユーロ	200	25,000	円

3. 学業面

履修科目名	種類ex.正規、聴講	単位数	単位互換認定 申請の有無		
			有	無	無
1 Gramática para la enseñanza del español I	正規	3	✓	有	無
2 Gramática para la enseñanza del español II	正規	3	✓	有	無
3 Fundamentis para La Tracucción 1ª Lengua Extranjera: I	正規	3	✓	有	無
4 Sociedades de Asia Oriental	正規	3	✓	有	無
5 Lengua Española II	正規	6		有	✓
6 Traducción Directa I :2ª Lengua Extranjera :Japonés	正規	6	✓	有	無
7				有	無
8				有	無
9				有	無
10				有	無

3-1. 授業科目の選択、登録方法

授業開始の日にオリエンテーションがあるという情報を翻訳学部の掲示板で見たので、実際に行ってみるとエラスムスの生徒用のオリエンテーションだった。私たちはインテルカンビオという区分の留学生なのでこのオリエンテーションは途中で退室しなければならなかった。もし、翻訳学部に行く人がいたら気をつけてほしい。インテルカンビオの生徒のためのオリエンテーションはなかったため、翻訳学部の事務にいき、留学生担当の先生に履修登録の日時、履修登録をするために必要なものなどを聞く。そのあと、コーディネーターを紹介してもらい、自分が気になった授業に参加したあと、コーディネータの先生や友達と相談して決める。必要な書類は、履修登録の用紙（履修したい授業を記入する紙）、パスポート、入学許可書だった。履修登録期間や必要なものなどは学部によって様々なので、違う学部の友人に聞くのではなく自分で確かめることが必要である。翻訳学部の授業は最初から実践的なものが多いので、履修登録期間に先生に相談してみるといい。

3-2. 授業内容、方法に関して

授業方式は先生によって異なるが、私は講義形式での授業が多かった。比較的人数が多い授業は日本のように発言することより聞くことの方が多かった。比較的人数が少ない授業ではグループワークやディベートが盛んだったように思う。生徒は質問があると発言している人が多かった。

3-3. 語学力について

留学前は授業をしっかり受けていて、English House のプロジェクトの一つであるLEXを申し込み、スペイン語話者の人と週一で会話練習をしてもらっていた。しかし、最初の方はやっぱり話すスピードがかなり早く感じ聞き取ることに苦戦した。授業も最初の方は聞き取ることが難しく、録音して何度も家で聞き返した。三ヶ月を過ぎると耳もだいたい慣れ理解できるようになり、半年経つと不自由さはなくなり、理解できるようになっていた。また、会話も最初は理解してもらえず何度も悔しい思いもしたが、諦めずに毎日同居人に話しかけ、会話をすることで半年後には自分が思っていることを言えるようになっていた。日本に帰国した後も、スペイン人の先生と週に2回会話の練習を続けていたため、日常会話は話すことができるようになった。

3-4. 図書館など学内施設について

私はよく翻訳学部の図書館を使用していた。千葉大学のように話すことができる場所と話すことができない場所に分かれていた。また、街の様々な場所に図書館があり、たまに翻訳学部でなはい街にある図書館にも足を運んだ。

3-5. その他

4. 生活面

4-1. 住居について

私はピソというシェアアパートのようなところにモロッコ人の女の子とポルトガル人の女の子と住んでいた。価格はかなり安く、また私のピソはかなり綺麗だったのでとても快適だった。日本人の友人は寮に住んでいる人やホームステイをしている人もいた。個々に一人部屋があり、お風呂、トイレ、キッチン、リビングは共同だった。冷蔵庫の中も一人一人のスペースがあった。洗剤などの日用品は自分で用意していたが、友人の中にはピソの全員で共有している人もいた。掃除は週に一度みんなが家にいる日に掃除していた。文化や習慣が違う人たちと住むので、最初にルールなどを決めておく方が過ごしやすいと思う。

4-2. 食生活について

私は基本的に自炊をしていた。お米を鍋で炊くのが大変でありあまり食わず、よくパスタを食べていた。スペインはフルーツがかなり安く、また味もかなり美味しいのでフルーツもよく買っていた。私はカフェで勉強をすることが好きだったのでカフェに通ったり、友達と約束してバルにもよく行ったりしていた。日本食を買うときは、中国人が経営するアジアの食品店に行っていた。

4-3. インターネット環境、携帯電話について

空港で比較的値段が高いSIMカードを買ってしまい、一ヶ月ですぐ違うものに変えた。空港で買うのではなく、サラマンカについて買う方がいいと思う。私が使っていたのは、Vodafoneという会社の15ギガで、月20ユーロを払うプランのSIMカードだった。日本人の友人の多くはこのVodafoneかOrangeのSIMカードを使っていた。他のプランより少し高いが、ギガを気にすることなく使えるのでおすすめだ。Wi-fiはあるが繋がりが悪いところが多く、地下にある店はほとんど繋がらなかった。

4-4. 服装について

9月から3月までずっと寒かった。冬服をあまり持って行っていなかったので現地で安い服を買い帰国する前に捨てて帰った。

4-5. 健康管理について

冬がとにかく寒かったので風邪をひかないようにいつも温かい格好をしていた。家の中もかなり寒かったので、友人からもらった湯たんぽをひたすら使って体を温めていた。また、スペインは乾燥がひどくすぐに喉が乾くので、水筒を常備しこまめに水分補給していた。コロナウイルスが流行っている時期は1週間に一回だけスーパーに行き、外出する時には必ずマスクをして、窓を開け、手洗いうがいをよくして、フルーツなども食べていました。

4-6. 保険、OSSMAの利用について

利用していない。

4-7. 課外活動について

日西文化センターで日本語を学んでいる生徒と会話の練習をするボランティアに参加した。スペイン人の生徒が日本語を習得しようとする姿勢に私も刺激を受けていた。また、後期は体を動かすことをしたかったので、同居人と一緒に一ヶ月ジムに通った。同居人との仲を深めることができた。

4-8. 学外のコミュニティとの交流について

語学学校に通っていたので、語学学校のメンバーでピクニックに行ったり、カフェに行ったり、ホームパーティーをしたりしていた。お互いにスペイン語を学んでいたため、一緒に頑張ろうという気持ちが多く、居心地が良かった。後期からは、個人的にスペイン語を教えてくれる先生を見つけ、週に一度先生の家に通い授業を受けていた。

4-9. 日本から持参してよかったもの

化粧水と乳液 スペインにはない。
 パソコン パソコンを用いて授業をすることが主流なため。
 マスク コロナウイルス期間とても役に立った。
 ヒートテック とても寒いので絶対使う。

個人的に持参したら良かったもの

日本の調味料 一人暮らしをする人は持って行った方が良い。アジアの食料品のお店で買えるが日本の倍くらいの値段がする。また、日本の好きなお菓子はなかなか買えないので持っていくと精神的に落ち着く。
 外付けDVDプレイヤー DVDを見る時、またDELEの勉強をする際にリスニングのCDを読み込むために必要だった。スペインでは見つけれなかった。
 三年次論文の文献 スペインでは日本語の文献を見つけることが難しいので何冊かあると心強い。

4-10. 日本から持参したが不要だったもの

化粧品の替え 私は肌が特別弱いわけでもなく、こだわりがなかったため、現地で安い化粧品をよく買っていた。
 ストッキングやタイツ ズボンを履いていたため使うことはなかった。

4-11. 現地での対人関係について気づいたこと(習慣の違い、マナーなど)

友達の友達は友達という方式でホームパーティーなどをすると半分は初対面の人がいる。このおかげで自然と交流が増えていった。
 誕生日の時に年齢の回数耳たぶを引っ張ること。
 スペイン人は比較的、思ったことを言う人が多いと感じた。
 日本のように年齢を重視しないので様々な年代と仲良くなることができた。店の店員さんは美味しい？どう？などとフランクに接してくれるのでこちらもフランクに接することができて距離が縮まったように思えた。
 スペインで起きている問題に個人個人で考えていて、自分の意見をSNSなどで発信する友人がたくさんいて、一人一人しっかりとした意見を持っていると思った。

4-12. 余暇の過ごし方

旅行

【マドリード・トレド（観光）】2019年10月（二日間）約2万
 【クロアチア・ドゥブロヴニク、イタリア・フェイレンツェ・ローマ・ヴェネチア、スペイン・バルセロナ（観光）】2019年12月、1月（11日間）約15万
 【フランス・パリ、ドイツ・ミュンヘン・フランクフルト（観光）】2020年1月（7日間）約13万
 【スペイン・グラナダ（観光）】2020年2月（二日間）約3万
 【スペイン・セゴビア・カセレス】2020年3月（二日間）約2万

その他 *気分転換やストレス発散法など。

私は一人でいるより友人と話すことが気分転換になっていたのので、友人とよく話したり、買い物に出かけたり、同居人と家でゲームをしたり映画を見たりしていた。それ以外にも、Netflixでスペインのドラマを見たり、Youtubeで日本のバラエティを見たりしていた。

5. その他

5-1. 留学先大学について

サラマンカ大学はヨーロッパの中でも歴史ある大学で、様々な国から学生が集まってくる。生徒はみんな真面目で熱心に勉強に取り組んでいる。また、町全体も落ち着いているため、勉強に専念することができる環境である。しかし、コロナウイルスの影響で少し差別があったのが残念だった。

5-2. 留学希望者へのアドバイス

初めて知る国、文化、習慣、そして母語でない言語での慣れない生活。最初は不安を感じることもないと思いますが、いざ行って見るとそんなに怖いものではないし必ず手を差し伸べてくれる人がいます。挫折ももちろん経験することになると思いますが、その状況さえも成長するための1歩として捉え、悲観的にならず楽しんでみてください。しかし、貴重な留学時期を無駄にしないためにも、行く前には事前準備をしておくことは怠らないでください。（スペイン語なら活用は完璧にするなど。）

留学では数え切れない人数の人と出会います。友達をたくさん作ろうという気持ちでいっぱいになると思いますが、自分が一緒に居て落ち着きお互いに助け合える友達を見つけることができればそれが一番だと思います。留学中は他人と比べず自分のペースで、時には思い切って興味のあることにチャレンジしてみてください。

5-3. 留学を終えて

コロナウイルスの影響で想定していた期間より早めの帰国にはなっけしめい悔しかったですが、留学を振り返って見ると、どの部分を切り取っても楽しかったという気持ちでいっぱいです。最初の方は自分の言語能力が原因で何度も壁にぶつかりましたが、その経験も踏まえて全てが自分にとって良い経験となりました。また、日本以外の国で長期間生活し、学ぶことで日本では得ることができなかった経験や価値観を身につけることができ、さらに、日本の良い部分や悪い部分にも気づくきっかけにもなりました。

留学期間中幾度となく困難にぶつかり、その度に私を助けてくれていた友人たちには感謝しても仕切れません。残念ながらコロナウイルスの影響でお別れの挨拶をすることなく帰国となってしまったことが、唯一の後悔です。落ち着いたらまたスペインに行き友達に会うことをモチベーションにスペイン語の勉強も頑張りたいと思います。

留学で得た素晴らしい経験全てが私の人生に大きな影響を与えていくと思います。私の留学に関わってくださった全ての人に感謝します。